

◆ 鹿児島県の魅力的な企業で生き生きと働く方々の活躍の様子をご紹介します。



私たちの生活に欠かせない電子機器の重要なパーツでもある精密部品。画像検査機を操作してチェックを行うのが又野さんの仕事



時にはこれまでの経験を生かし、話の聞き役になることも



又野さんのお孫さんと同世代の10代後半から70代までが同じフロアで働く

「元気なうちは働き続けたい」
社会に必要とされている喜びが働く原動力！

ひとが
輝く
鹿児島

鹿児島で生き生きと働こう！

有限会社鹿屋電子工業

またの
又野まさ子さん(72)

肝属郡肝付町(旧・高山町)出身。就職で名古屋へ。その後鹿児島に戻り、縫製工場勤務や介護職などを経て、58歳の時に同社に入社。友人たちとランチやカラオケが楽しめる日常が来ることを待ち望んでいる。

未経験の業種への

新たなチャレンジ

鹿屋市内で、電子部品の加工や検査などを行っている鹿屋電子工業。現在、市内3カ所に工場があり、200名を超える人が働いています。そのうち15%ほどが60歳以上。本社工場に勤務する又野さんも元気に働くシニアの一人です。同社では、高齢者雇用の推進に取り組むため、目標・活用方針などを設定し、特徴や個性を生かしてすべての社員が生き生きと働けるように努めています。

画像検査の業務を担当している又野さん。クリーンルームの中で、タッチパネルを操作し、決められた手順で次々と検査を進めていきます。「入社時は、これまでとは全く違う仕事で、できるかどうか心配でした。でも周囲の方が一からわかりやすく教えてくれたんです。一緒に働く人たちに恵まれています」と感謝を示します。そして又野さんは作業を覚えるために機械の操作手順をノートに記したり、働く以上は年齢を意識させないために明るく話しかけたりするなど、努力も欠かしません。

シニアの方が活躍できる

環境づくり

同社は「高齢者だから」と、その人の可能性を限定してしまうのではなく、社員一人一人が個性を生かして、全員が自分の力を最大限に発揮できる環境づくりを行っています。同じ作業を同じように行う仲間として認め合うことで、社員同士の良好な関係性が保たれ、働きやすい雰囲気がつくられています。

「60歳を迎えたときに、『元気ならこれからも働いて』と言っていただいたことがありがたくて。毎日、班長が設定した以上の成果を出すことを目標にしています」と又野さん。前向きなシニアの活躍がこれからの鹿児島を元気にしてくれそうです。



有限会社鹿屋電子工業

鹿屋市寿7-515-18
☎0994-43-8851



ホームページ